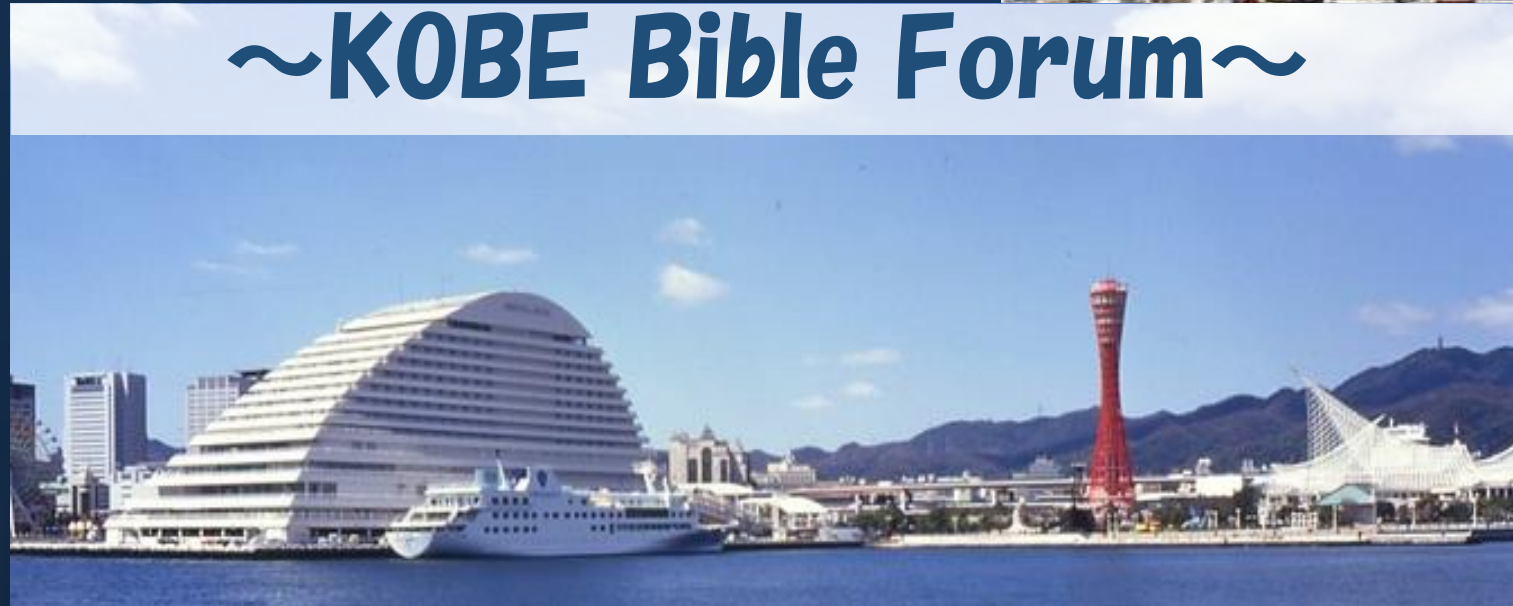


Bible Forum in KOBE

~KOBE MOTOMACHI Bible Forum~



~KOBE Bible Forum~



ニックネーム
KBF(神戸ビーフ)
KMBF(コンビーフ)

第8回 神戸元町聖書フォーラム

クレイ聖書解説コレクション
「ヨハネの黙示録」講解メッセージ
黙示録17：1～18：24

2016/8/27(土)

お願い！

このパワーポイント資料は

Clay クレイ聖書解説コレクション 「ヨハネの黙示録」

を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の
電子版か紙版テキストと合わせて
必ずご参照・ご活用下さい！

*神戸聖書フォーラムでまとめ買いしております。
お求めの際はお気軽にお声掛け下さい。

1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

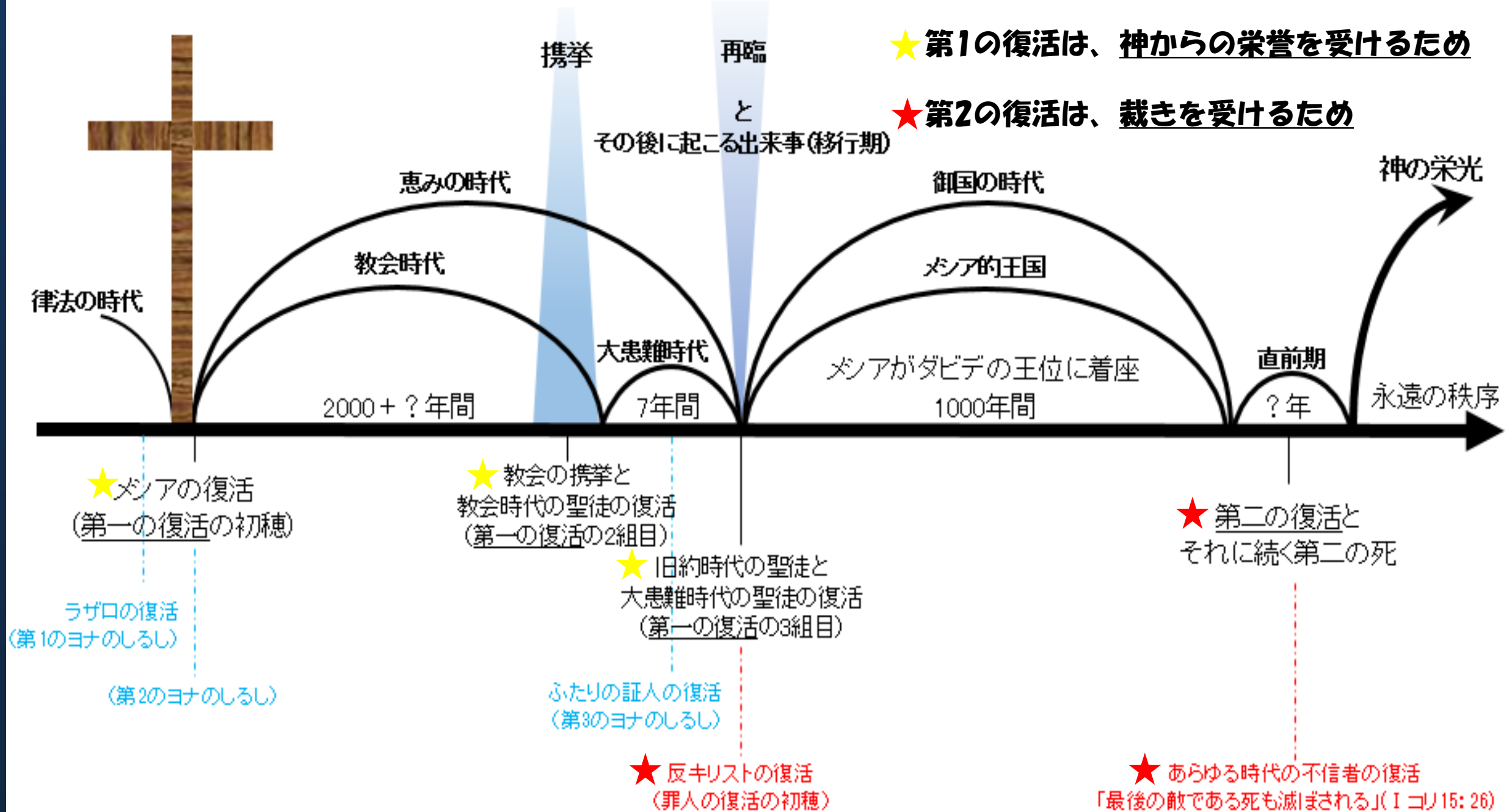
全体構造理解の大前提！

ティスペンセーションリズム

定義「ティスペンセーションとは
神の計画が進展していく過程において出現する
明確に区分可能な神の経綸（時代・時代区分）

- (1) 聖書を字義通りに解釈
- (2) イスラエルと教会を一貫して区別。
神がユダヤ民族と
アブラハム契約を結ばれたこと
それが永遠の契約であることを認める。
- (3) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光 時間を 超越した 永遠の秩序 <u>黙21:1</u> <u>～22:5</u>
	① ～無垢の 時代～	② ～良心の 時代～	③ ～人間による 統治の時代～	④ ～約束の 時代～	⑤ ～律法の 時代～	⑥ ～恵みの 時代～	⑦ ～御国の 時代～	
聖書箇所	創1:28 ～3:8	創3:9 ～8:14	創8:15 ～11:32	創12:1 ～出18:27	出19:1 ～使徒1:26	使徒2:1 ～黙19:21	黙20:1 ～10	
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア	
1. エデン契約 聖書箇所	→ ・創1:26～31・創2:16～17							
2. アダム契約 聖書箇所		【2】→ ・創3:14～19						
3. ノア契約 聖書箇所			【3】→ ・創9:1～17					
4. アブラハム契約 聖書箇所				【4】→ ・創12:1～3 ・創12:7 ・創13:14～17 ・創15:1～21 ・創17:1～21 ・創22:15～18				
5. モーセ契約 聖書箇所					【5】→ ・出19:3～8 ・広くは出20:1～31:18			
6. 土地の契約 聖書箇所				→【6:土地】→	・申29:1～30:1 *特に申29:1に注目			
7. ダビデ契約 聖書箇所				→【7:子孫】→	・Ⅱサム7:11b～17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b～15(メシア強調)			
8. 新しい契約 聖書箇所					→【8:祝福】→ ・エレ31:31～34			



序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

Ⅰ. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

Ⅱ. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

Ⅲ. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1～18:24)

大バビロンのさばき(17:1～6)

50

獣のさばき(17:7～14)

51

大淫婦の滅び(17:15～18)

52

政治的バビロンの崩壊(18:1～8)

53

大バビロンの崩壊を嘆く人々(18:9～19)

54

大バビロンの崩壊を喜ぶ人々(18:20～24)

55

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

→ 1:1「イエスキリストの黙示」

→ 1:7「黙示録のテーマ」

→ 1:19「黙示録のアウトライン」

→ 再臨までのプロセス

本日
第8回



→ クライマックスは再臨

1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。 地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。 しかり。 アーメン。 」

3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。 」

黙示録の要点

(1)黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス**(黙1:7)

(2)再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心**(ゼカリヤ12:10)

(3)終末論の出来事の流れ

携挙→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心→メシアの再臨→千年王国

(4)大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的は、霊的なもの**(再臨の阻止)**

(5)執筆経緯は「**迫害の中にいる人々**」と「**教会全体**」への励ましと矯正

「22:7 見よ。わたしはすぐに来る。この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「堅く守る」とは、「心に留め見張っている状態」を言います。

黙示録のテーマを理解し、主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

そして再臨の条件であるユダヤ人の民族的回心を祈りつつ、教会としての責務を果たしましょう！

ユダヤ人に対する教会の責務まとめ

1. 福音を伝える ロマ1：16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

2. 物質的な物を分かち合う ロマ15：25～27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62：1～2 ③イザ62：6～7 ④ロマ10：1

II.第8回) 黙示録17～18章アウトライン

- (1) **17 : 1～6 「大バビロンのさばき」**
- (2) **17 : 7～14 「獣のさばき」**
- (3) **17 : 15～18 「大淫婦の滅び」**
- (4) **18:1～8 「政治的バビロンの崩壊」**
- (5) **18 : 9～19 「大バビロンの崩壊を嘆く人々」**
- (6) **18 : 20～24 「大バビロンの滅亡を喜ぶ人々」**

III. 今後学ぶことの展望(最終回まで)

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

大バビロンのさばき(17:1～6)

50

獣のさばき(17:7～14)

51

大淫婦の滅び(17:15～18)

52

政治的バビロンの崩壊(18:1～8)

53

大バビロンの崩壊を嘆く人々(18:9～19)

54

大バビロンの崩壊を喜ぶ人々(18:20～24)

55

← 第8回(8/27)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

← 第9回(9/24)

4. メシア的王国(20:4～6)

← 第10回(10/29)

5. その後の出来事(20:7～15)

← 第11回(11/26)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

← 第12回(12/24)

結論(22:6～21)

IV. 結論：神の側に立ち、雄々しく歩む義人

- (1) 真に恐れるべき方から目を離さない
- (2) やがて来るべきよき日
- (3) 神が歴史を支配しておられるとは
- (4) 神は現代人に何を語っておられるでしょうか？
- (5) 天に宝を積む生き方とは
- (6) 神の側に立って歩む義人とは

このメッセージは、二つの(宗教的、政治的)
大バビロンについて学ぼうとするものである。

ここからが本論！

...

黙示録17章

～宗教的バビロンの裁きと滅び～

～10本の角と7つの頭を持つ獣(バビロン)とは～

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

{1}大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

{2}大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

{3}大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

{4}反復: 2つの大バビロン(17:1～18:24)



大バビロンのさばき(17:1～6)

*大水の上にすわる大淫婦

*聖徒たちの血

50

*ぎょうの霊想: やがて来るべきよき日

獣のさばき(17:7～14)

51

大淫婦の滅び(17:15～18)

52

政治的バビロンの崩壊(18:1～8)

53

大バビロンの崩壊を嘆く人々(18:9～19)

54

大バビロンの崩壊を喜ぶ人々(18:20～24)

55

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

50) 17:1~6 「大バビロンのさばき」

17:1 また、七つの鉢を持つ七人の御使いのひとりが来て、私に話して、こう言った。「ここに来なさい。大水の上にすわっている大淫婦へのさばきを見せましょう。 17:2 地の王たちは、この女と不品行を行い、地に住む人々も、この女の不品行のぶどう酒に酔ったのです。」 17:3 それから、御使いは、御霊に感じた私を荒野に連れて行った。すると私は、ひとりの女が緋色の獣に乗っているのを見た。その獣は神をけがす名で満ちており、七つの頭と十本の角を持っていた。 17:4 この女は紫と緋の衣を着ていて、金と宝石と真珠とで身を飾り、憎むべきものや自分の不品行の汚れでいっぱいになった金の杯を手を持っていた。 17:5 その額には、意味の秘められた名が書かれていた。すなわち、「すべての淫婦と地の憎むべきものの母、大バビロン」という名であった。 17:6 そして、私はこの女が、聖徒たちの血とイエスの証人たちの血に酔っているのを見た。私はこの女を見たとき、非常に驚いた。

大水とは、全世界の諸民族を指します

52) 17:15~18 「大淫婦の滅び」

17:15 御使いはまた私に言った。「あなたが見た水、すなわち淫婦がすわっている所は、もろもろの民族、群衆、国民、国語です。

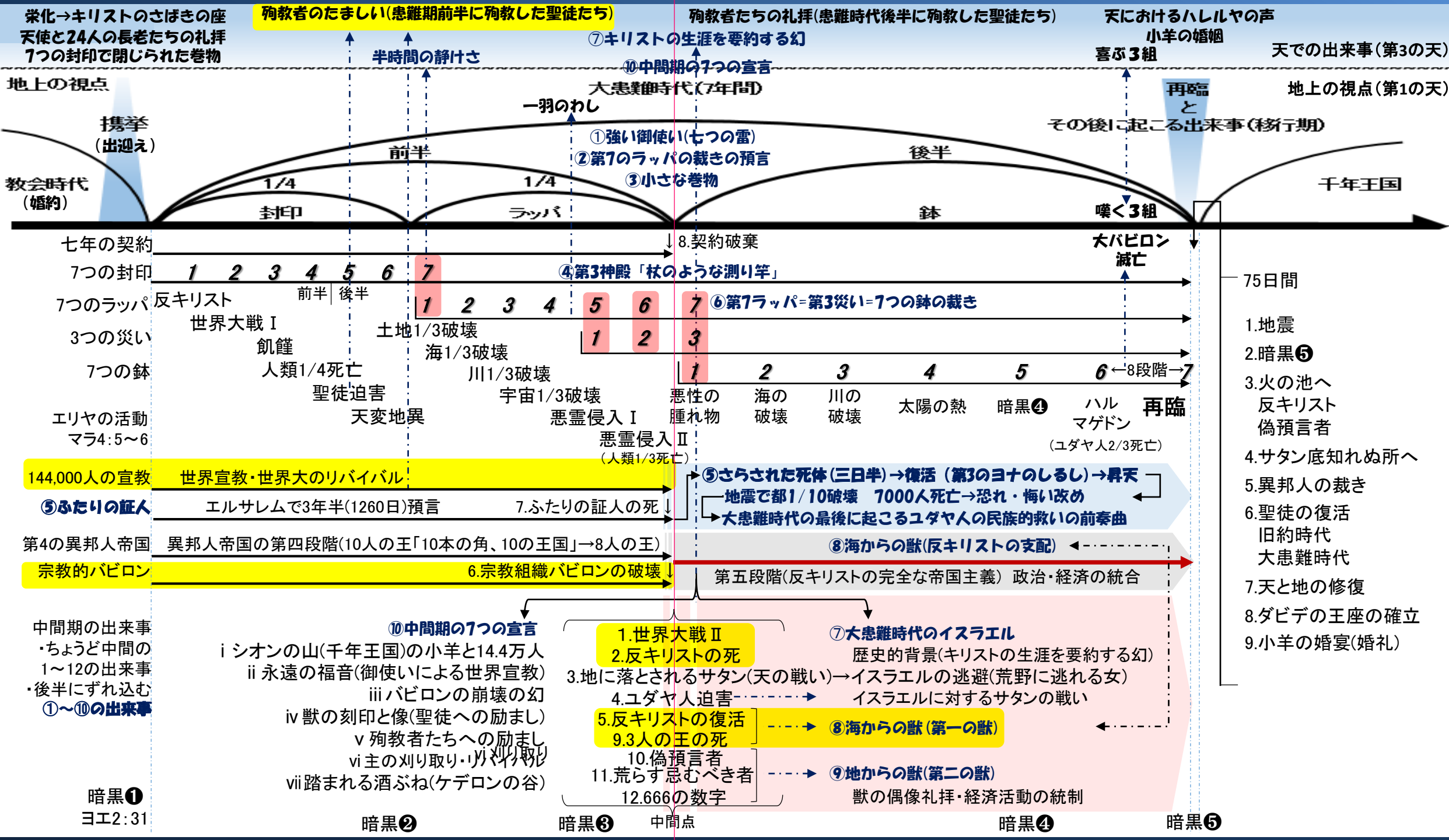
17:16 あなたが見た十本の角と、あの獣とは、その淫婦を憎み、彼女を荒廃させ、裸にし、その肉を食い、彼女を火で焼き尽くすようになります。 17:17 それは、神が、みことばの成就するときまで、神のみこころを行う思いを彼らの心に起こさせ、彼らが心を一つにして、その支配権を獣に与えるようにされたからです。 17:18 あなたが見たあの女は、地上の王たちを支配する大きな都のことです。」

過去					現在の状態	将来	★大患難時代前半	★大患難時代後半	聖句箇所		
エジプト？	アッシリヤ？	異邦人帝国							10本の角	黙13:1～10 黙17:9～12	
		第一の異邦人帝国	第二の異邦人帝国	第三の異邦人帝国	第四の異邦人帝国(獣) 帝国主義(帝国主義の5つの段階)						
		獅子のようで 鷲の翼	熊	ひょうのようで 4つの翼	第1段階	第2段階	第3段階	★ 第4段階			★ 第5段階
		頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	大きな鉄のきばと10本の角★						
		すねは鉄、足は鉄と粘土									
		バビロン	メド・ペルシャ	ギリシア	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの時代	東西分裂 (364年～現在) ★ 現在	統一された 世界政府 ★ 将来	★ 10本の角とは、帝国主義の 第4段階における10人の王。 反キリストが11番目の角として 台頭し3本を倒し8番目の角で ありながら他7人を支配する。 「昔いたが、今はいません。 しかし、やがて底知れぬ所から 上ってきます」＝ 反キリストの復活を意味する。 そして彼は二人の証人を殺す。 (黙11:7)			彼(反キリスト)が 来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する。 ★(獣の国)
第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	★ 第6の頭 (山・王) (統治形態=帝国主義)	★ 第7の頭(反キリスト) による完全な統治形態		ダニ7:7～12 ダニ7:19～27 ダニ9:27 ダニ11:36～45			
★ 7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(エジプト？、アッシリヤ？、バビロン、メド・ペルシャ、ギリシア) 現在(ローマ帝国=帝国主義) 将来(反キリストによる独裁)									7つの頭		

第5の封印の殉教者たち

23) 6:9~11 「第五の封印」

「6:9 小羊が第五の封印を解いたとき、私は、神のことばと、自分たちが立てたあかしとのために殺された人々のたましいが祭壇の下にいるのを見た。 6:10 彼らは大声で叫んで言った。『聖なる、真実な主よ。 いつまでさばきを行なわず、地に住む者に私たちの血の復讐をなさらないのですか。』 6:11 すると、彼らのひとりひとりに白い衣が与えられた。 そして彼らは、『あなたがたと同じしもべ、また兄弟たちで、あなたがたと同じように殺されるはずの人々の数が満ちるまで、もうしばらくの間、休んでいなさい。』
と言い渡された。」



序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)



大バビロンのさばき(17:1～6)

50

獣のさばき(17:7～14)

*女を乗せた獣

51

*七つの頭と十本の角

大淫婦の滅び(17:15～18)

52

政治的バビロンの崩壊(18:1～8)

53

大バビロンの崩壊を嘆く人々(18:9～19)

54

大バビロンの崩壊を喜ぶ人々(18:20～24)

55

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王國(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

51) 17:7~14「獣のさばき」

17:7 すると、御使いは私にこう言った。「なぜ驚くのですか。私は、あなたに、この女の秘義と、この女を乗せた、七つの頭と十本の角とを持つ獣の秘義とを話してあげましょう。 17:8 あなたの見た獣は、**昔いたが、今はいません。しかし、やがて底知れぬ所から上って来ます。**そして彼は、ついには滅びます。地上に住む者たちで、世の初めからいのちの書に名を書きしるされていない者は、その獣が、**昔はいたが、今はおらず、やがて現れるのを見て驚きます。** 17:9 ここに知恵の心があります。七つの頭とは、この女がすわっている七つの山で、七人の王たちのことです。 17:10 **五人はすでに倒れたが、一人は今おり、ほかの一人は、まだ来ていません。しかし彼が来れば、しばらくの間とどまるはずで。**

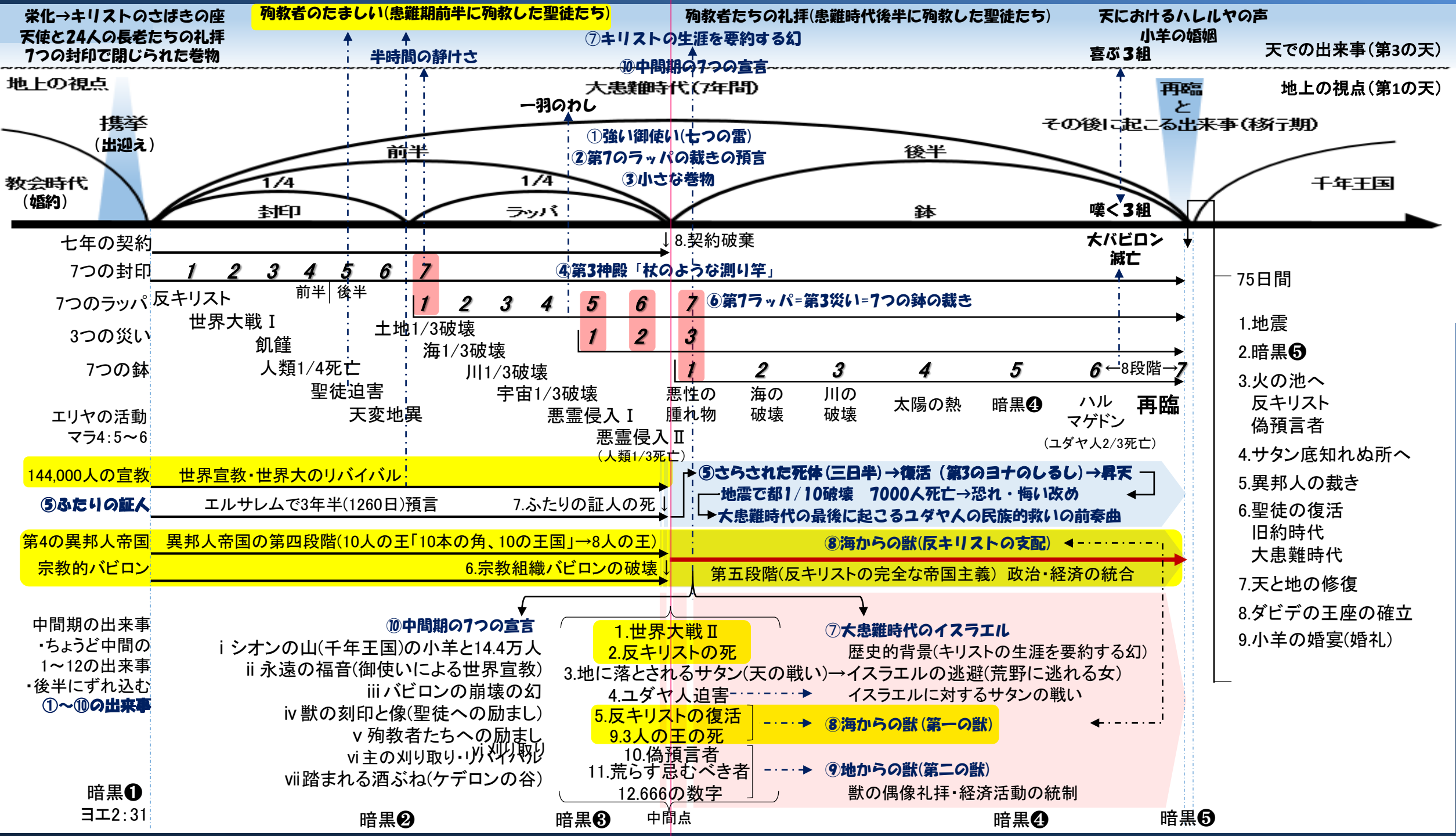
17:11 また、昔いたが今はいない獣について言えば、**彼は八番目でもあります、先の七人のうちのひとりです。そして彼はついには滅びます。** 17:12 あなたが見た十本の角は、十人の王たちで、彼らは、まだ国を受けてはいませんが、獣とともに、一時だけ王の權威を受けます。 17:13 この者どもは心を一つにしており、自分たちの力と權威とをその獣に与えます。 17:14 この者どもは小羊と戦いますが、小羊は彼らに打ち勝ちます。なぜならば、小羊は主の主、王の王だからです。また彼とともにいる者たちは、召された者、選ばれた者、忠実な者だからです。」

大淫婦を乗せた獣

39) 13:1~10 「反キリストの支配」

*海からの獣

13:1 また私は見た。海から一匹の獣が上って来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。 13:2 私の見たその獣は、ひょうに似ており、足は熊の足のようで、口は獅子の口のものであった。竜はこの獣に、自分の力と位と大きな権威とを与えた。 13:3 その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、全地は驚いて、その獣に従い、 13:4 そして、竜を拝んだ。獣に権威を与えたのが竜だからである。また彼らは獣をも拝んで、「だれがこの獣に比べられよう。だれがこれと戦うことができよう」と言った。 13:5 この獣は、傲慢なことを言い、けがしごとを言う口を与えられ、四十二か月間活動する権威を与えられた。



過去			現在の状態		将来	★大患難時代前半	★大患難時代後半	聖句箇所		
エジプト？	アッシリヤ？	異邦人帝国							10本の角	
		第一の異邦人帝国	第二の異邦人帝国	第三の異邦人帝国	第四の異邦人帝国(獣) 帝国主義(帝国主義の5つの段階)					
		獅子のようで 鷲の翼	熊	ひょうのようで 4つの翼	第1段階	第2段階	第3段階	★ 第4段階		★ 第5段階
		頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	大きな鉄のきばと10本の角★					
		すねは鉄、足は鉄と粘土								
		バビロン	メド・ペルシャ	ギリシア	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの時代	東西分裂 (364年～現在) ★ 現在	統一された 世界政府 ★ 将来	★ 10本の角とは、帝国主義の 第4段階における10人の王。 反キリストが11番目の角として 台頭し3本を倒し8番目の角で ありながら他7人を支配する。 「昔いたが、今はいません。 しかし、やがて底知れぬ所から 上ってきます」＝ 反キリストの復活を意味する。 そして彼は二人の証人を殺す。 (黙11:7)		彼(反キリスト)が 来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する。 ★(獣の国)
第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	★ 第6の頭 (山・王) (統治形態=帝国主義)		★ 第7の頭(反キリスト) による完全な統治形態	黙12:1～5 黙13:1～10 黙17:9～12		
★ 7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(エジプト？、アッシリヤ？、バビロン、メド・ペルシャ、ギリシア) 現在(ローマ帝国=帝国主義) 将来(反キリストによる独裁)								7つの頭		

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

大バビロンのさばき(17:1～6) 50

獣のさばき(17:7～14) 51

★ 大淫婦の滅び(17:15～18)

*反キリストの野望 52

*大淫婦の荒廃

政治的バビロンの崩壊(18:1～8) 53

大バビロンの崩壊を嘆く人々(18:9～19) 54

大バビロンの崩壊を喜ぶ人々(18:20～24) 55

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

52) 17 : 15～18 「大淫婦の滅び」

17:15 御使いはまた私に言った。「あなたが見た水、すなわち淫婦がすわっている所は、**もろもろの民族、群衆、国民、国語**です。 17:16 あなたが見た十本の角と、あの獣とは、その淫婦を憎み、彼女を荒廃させ、裸にし、その肉を食い、彼女を火で焼き尽くすようになります。 17:17 それは、神が、みことばの成就するときまで、神のみこころを行う思いを彼らの心に起こさせ、彼らが心を一つにして、その支配権を獣に与えるようにされたからです。 17:18 あなたが見たあの女は、地上の王たちを支配する大きな都のことです。」

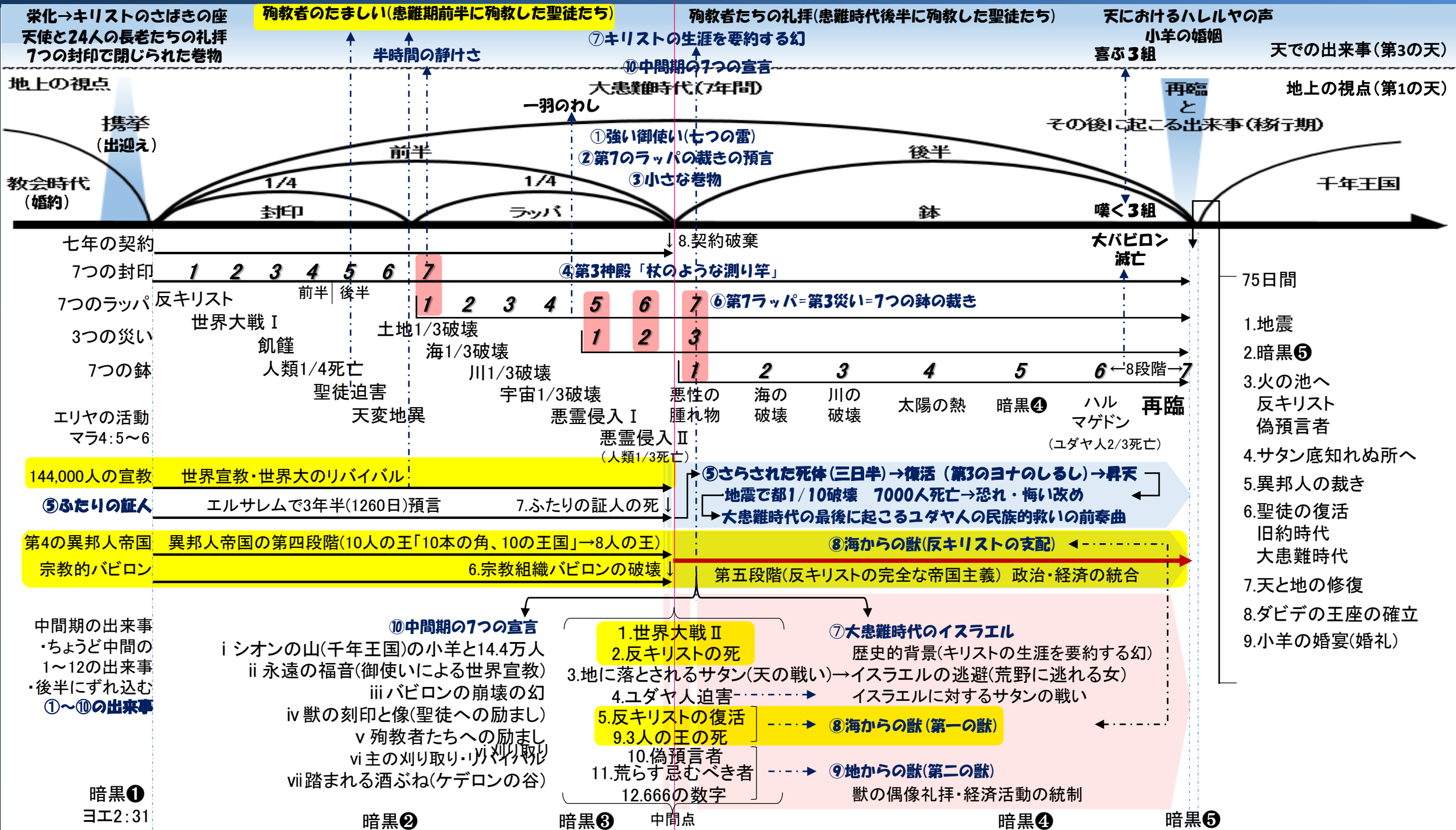
過去					現在の状態	将来	★大患難時代前半	★大患難時代後半	聖句箇所	
エジプト ？	アッシリヤ ？	異邦人帝国							黙13: 1～10 黙17: 9～12	
		第一の 異邦人帝国	第二の 異邦人帝国	第三の 異邦人帝国	第四の異邦人帝国(獣) 帝国主義(帝国主義の5つの段階)					
		獅子のようで 鷲の翼	熊	ひょうのようで 4つの翼	第1段階	第2段階	第3段階	★ 第4段階		★ 第5段階
		頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	大きな鉄のきばと10本の角★					
		すねは鉄、足は鉄と粘土								
		バビロン	メド・ペルシャ	ギリシア	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの時代	東西分裂 (364年～現在) ★ 現在	統一された 世界政府 ★ 将来	★ 10本の角とは、帝国主義の 第4段階における10人の王。 反キリストが11番目の角として 台頭し3本を倒し8番目の角で ありながら他7人を支配する。 「昔いたが、今はいません。 しかし、やがて底知れぬ所から 上ってきます」＝ 反キリストの復活を意味する。 そして彼は二人の証人を殺す。 (黙11:7)		彼(反キリスト)が 来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する。 ★(獣の国)
				★ 10の王国 10本の角 (同時代の 10人の王「冠」)	★ 8人の王 一時代だけ (黙17: 12)	★ 反キリスト(獣) による支配 (完全な帝国主義)	ダニ7: 7～12 ダニ7: 19～27 ダニ9: 27 ダニ11: 36～45			
第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	★ 第6の頭 (山・王) (統治形態=帝国主義)		★ 第7の頭(反キリスト) による完全な統治形態			
★ 7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(エジプト？、アッシリヤ？、バビロン、メド・ペルシャ、ギリシア) 現在(ローマ帝国=帝国主義) 将来(反キリストによる独裁)										

10本の角

7つの頭

10本の角

7つの頭



黙示録18章

～政治的大バビロンの崩壊～

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

大バビロンのさばき(17:1～6) 50

獣のさばき(17:7～14) 51

大淫婦の滅び(17:15～18) 52

政治的バビロンの崩壊(18:1～8)

*悪霊の住まいとなる大バビロン 53

*避難の勧告

*ぎょうの霊想: イエスの声に従う

大バビロンの崩壊を嘆く人々(18:9～19) 54

大バビロンの崩壊を喜ぶ人々(18:20～24) 55

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)



53) 18 : 1～8 「政治的バビロンの崩壊」

18:1 この後、私は、もうひとりの御使いが、大きな権威を帯びて、天から下って来るのを見た。地はその栄光のために明るくなった。

18:2 彼は力強い声で叫んで言った。「倒れた。大バビロンが倒れた。そして、悪霊の住まい、あらゆる汚れた霊どもの巣くつ、あらゆる汚れた、憎むべき鳥どもの巣くつとなった。 18:3 それは、すべての国々の民が、彼女の不品行に対する激しい御怒りのぶどう酒を飲み、地上の王たちは、彼女と不品行を行い、地上の商人たちは、彼女の極度の好色によって富を得たからである。」 18:4 それから、私は、天からのもう一つの声がこう言うのを聞いた。「わが民よ。この女から離れなさい。その罪にあずからないため、また、その災害を受けないためです。 18:5 なぜなら、彼女の罪は積み重なって天にまで届き、神は彼女の不正を覚えておられるからです。

18:6 あなたがたは、彼女が支払ったものをそのまま彼女に返し、彼女の行いに応じて二倍にして戻しなさい。彼女が混ぜ合わせた杯の中には、彼女のために二倍の量を混ぜ合わせなさい。 18:7 彼女が自分を誇り、好色にふけたと同じだけの苦しみと悲しみを、彼女に与えなさい。彼女は心の中で『私は女王の座に着いている者であり、やもめではないから、悲しみを知らない』と言うからです。

18:8 それゆえ一日のうちに、さまざまの災害、すなわち死病、悲しみ、飢えが彼女を襲い、彼女は火で焼き尽くされます。彼女をさばく神である主は力の強い方だからです。



親バビロン、親・反キリストの軍勢

反バビロン、反・反キリストの軍勢 (異邦人の信者)

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)
第1段階	軍勢の集結 ・ ユーフラテス川の枯渇と悪霊による王の参集	黙16: 12~16 (第6の鉢の裁き)
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・ 異邦人信者による ・ 神ご自身による	黙14: 8 黙18章 黙19: 1~5
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・ 反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃	
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12: 6~17
第5段階	イスラエルの民族的救い ・ イスラエルによる国家的罪の告白 ・ イスラエルの懇願	
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12: 7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19: 11~16 黙1: 7
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・ 反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14: 17~20
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・ 地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの雷)	黙16: 17~21 (第7の鉢の裁き)

イラク

バビロン

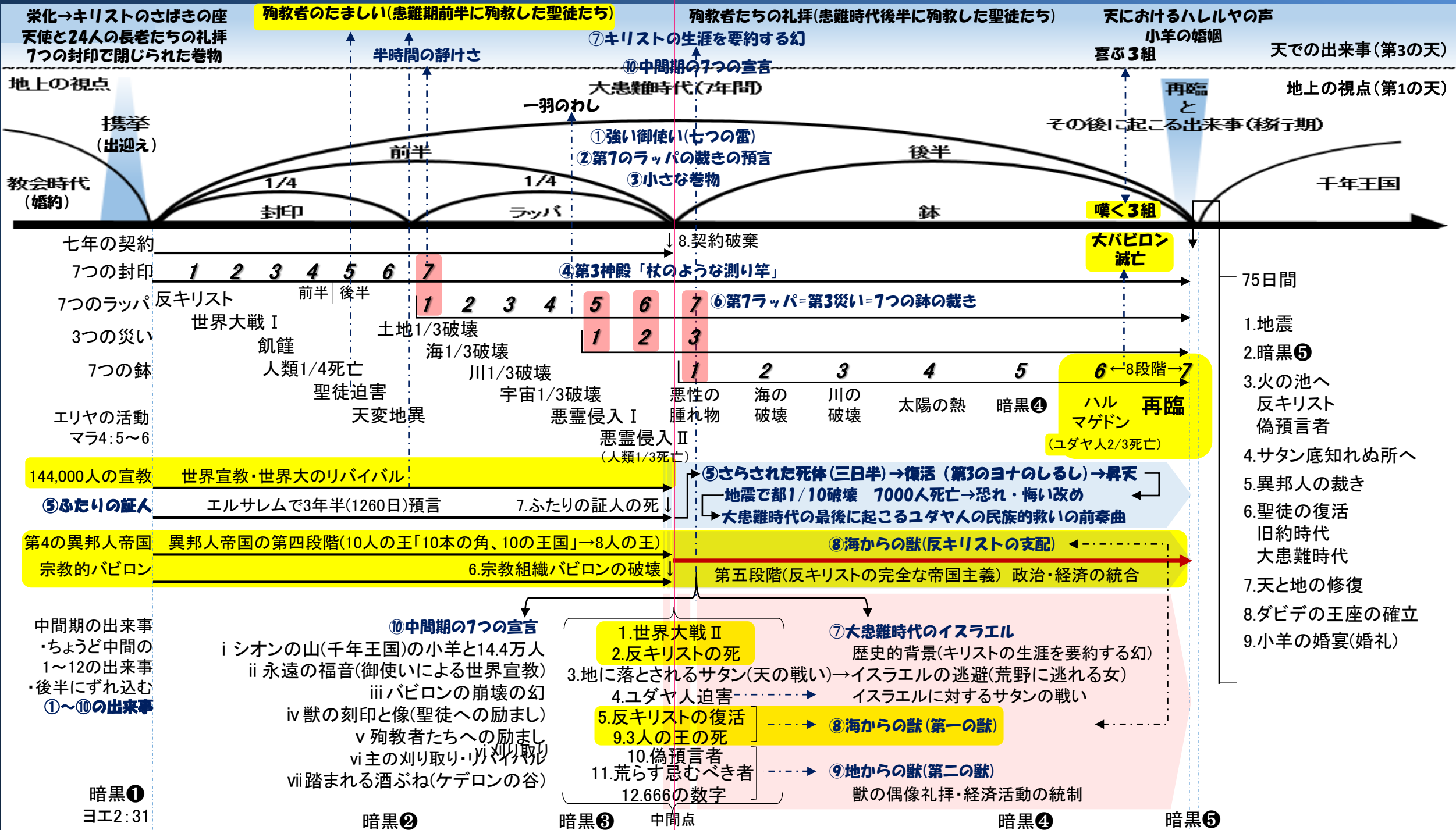
第6の鉢の裁き
ユーフラテス川(2800km)
が枯れる

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
第1段階	軍勢の集結 ・ ユーフラテス川の枯渇と悪霊による王の参集	黙16: 12~16 (第6の鉢の裁き)	ヨエ3: 9~11 詩2
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・ 異邦人信者による ・ 神ご自身による	黙14: 8 黙18章 黙19: 1~5	イザ13~14章 エレ50~51章 ゼカ5: 5~11
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・ 反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃		ゼカ12: 1~9 ゼカ14: 1~2 ゼカ10: 4~9 ミカ4: 19~5: 1
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12: 6~17	エレ49: 13~14 ミカ2: 12 ダニ11: 36~45 マタ24: 15~22 イザ33: 12~16
第5段階	イスラエルの民族的救い ・ イスラエルによる国家的罪の告白 ・ イスラエルの懇願		ゼカ12: 10 レビ26: 39~42 エレ3: 12~18 マタ23: 37~39 ロマ11: 26 ホセ5: 15 ホセ6: 1~3 イザ53: 1~9 イザ64 イザ66 詩79 詩80: 1~3, 17
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12: 7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19: 11~16 黙1: 7	イザ34: 1~7 イザ63: 1~6 ハバ3: 1~19 ミカ2: 12~13 Iテサ3: 13, 4: 14 エゼ39: 21~29 マタ16: 27 マタ24: 30 使1: 9~11 ユダ14~15
第7段階	ケデロン谷で最終的な勝利 ・ 反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14: 17~20	ヨエ3: 12~13
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・ 地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの雲)	黙16: 17~21 (第7の鉢の裁き)	ゼカ14: 3~4a ゼカ14: 4b~5 マタ24: 29 ヨエ3: 14~17

サタン・悪霊の行先

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって縛られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	



序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

大バビロンのさばき(17:1～6) 50

獣のさばき(17:7～14) 51

大淫婦の滅び(17:15～18) 52

政治的バビロンの崩壊(18:1～8) 53

★ 大バビロンの崩壊を嘆く人々(18:9～19)

*王たちの嘆き(9～10節) 54

*商人たちの嘆き(11～17a)

*海運業者の嘆き(17b～19)

大バビロンの崩壊を喜ぶ人々(18:20～24) 55

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

54) 18 : 9～19 「大バビロンの崩壊を嘆く人々」

*王たちの嘆き(9～10節)

18:9 彼女と不品行を行い、好色にふけた地上の王たちは、彼女が火で焼かれる煙を見ると、彼女のことで泣き、悲しみます。 18:10 彼らは、彼女の苦しみを恐れたために、遠く離れて立っていて、こう言います。『**わざわざいが来た。わざわざいが来た。大きな都よ。力強い都、バビロンよ。あなたのさばきは、一瞬のうちに来た。**』

54) 18:9~19 「大バビロンの崩壊を嘆く人々」

*商人たちの嘆き(11~17a節)

18:11 また、地上の商人たちは彼女のことです。泣き悲しみます。もはや彼らの商品を買う者がだれもいないからです。 18:12 商品とは、金、銀、宝石、真珠、麻布、紫布、絹、緋布、香木、さまざまな象牙細工、高価な木や銅や鉄や大理石で造ったあらゆる種類の器具、 18:13 また、肉桂、香料、香、香油、乳香、ぶどう酒、オリーブ油、麦粉、麦、牛、羊、それに馬、車、奴隷、また人のいのちです。 18:14 また、あなたの心の望みである熟したくだものは、あなたから遠ざかってしまい、あらゆるはでな物、はなやかな物は消えうせて、もはや、決してそれらの物を見いだすことができません。 18:15 これらの物を商って彼女から富を得ていた商人たちは、彼女の苦しみを恐れたために、遠く離れて立っていて、泣き悲しんで、 18:16 言います。『**わざわざいが来た。わざわざいが来た。麻布、紫布、緋布を着て、金、宝石、真珠を飾りにしていた大きな都よ。18:17 あれほどの富が、一瞬のうちに荒れすたれてしまった。**』

54) 18 : 9～19 「大バビロンの崩壊を嘆く人々」

*海運業者の嘆き(17b～19節)

また、すべての船長、すべての船客、水夫、海で働く者たちも、遠く離れて立っていて、18:18 彼女が焼かれる煙を見て、叫んで言いました。『このすばらしい都のような所がほかにあろうか。』18:19 それから、彼らは、頭にちいをかぶって、泣き悲しみ、叫んで言いました。『**わざわざ**が来た。**わざわざ**が来た。大きな都よ。海に舟を持つ者はみな、この都のおごりによって富を得ていたのに、それが一瞬のうちに荒れすたれるとは。』

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

大バビロンのさばき(17:1～6) 50

獣のさばき(17:7～14) 51

大淫婦の滅び(17:15～18) 52

政治的バビロンの崩壊(18:1～8) 53

大バビロンの崩壊を嘆く人々(18:9～19) 54

★ 大バビロンの崩壊を喜ぶ人々(18:20～24)

*喜ぶ3組の人々(20節) 55

*バビロンの完全な滅亡(21～24節)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

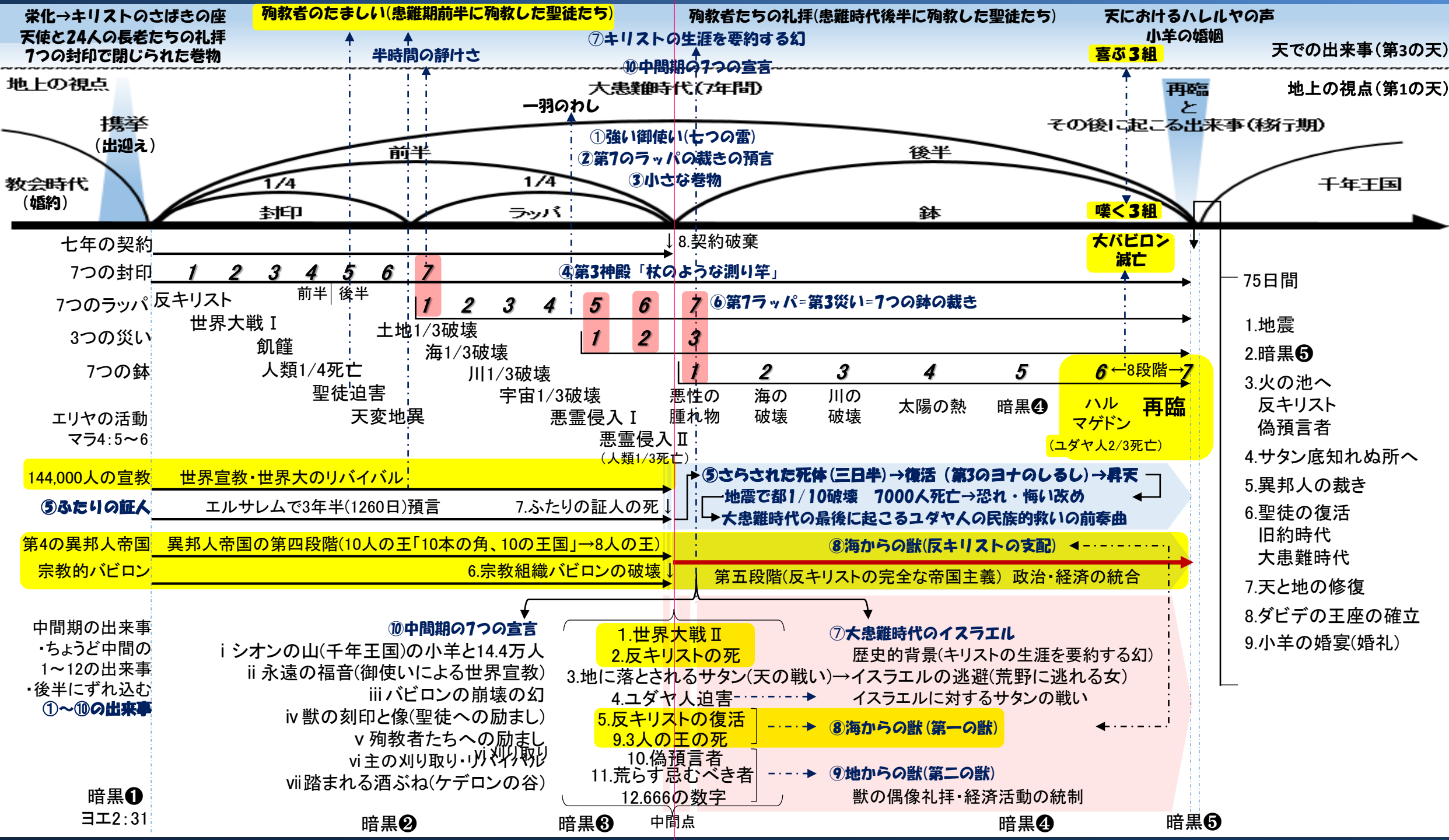
5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

55) 18 : 20～24 「大バビロンの滅亡を喜ぶ人々」

18:20 おお、天よ、聖徒たちよ、使徒たちよ、預言者たちよ。この都のことで喜びなさい。神は、あなたがたのために、この都にさばきを宣告されたからです。」 18:21 また、ひとりの強い御使いが、大きい、ひき臼のような石を取り上げ、海に投げ入れて言った。「大きな都バビロンは、このように激しく打ち倒されて、もはやなくなって消えうせてしまう。 18:22 立琴をひく者、歌を歌う者、笛を吹く者、ラッパを鳴らす者の声は、もうおまえのうちに聞かれなくなる。あらゆる技術を持った職人たちも、もうおまえのうちに見られなくなる。ひき臼の音も、もうおまえのうちに聞かれなくなる。 18:23 ともしびの光は、もうおまえのうちに輝かなくなる。花婿、花嫁の声も、もうおまえのうちに聞かれなくなる。なぜなら、おまえの商人たちは地上の力ある者どもで、すべての国々の民がおまえの魔術にだまされていたからだ。 18:24 また、預言者や聖徒たちの血、および地上で殺されたすべての人々の血が、この都の中に見いだされたからだ。」



結論

IV.結論：神の側に立ち、雄々しく歩む義人

(1)真に恐れるべき方から目を離さない

①再臨のイエス

※反キリストも彼に従う七人の王たちも、また全ての邪悪をも滅ぼすお方

(2)やがて来るべきよき日

①神は、**大いなる再臨の日**にどれだけ**期待**すべきかを
イエスの初臨(聖書)を通して知って欲しいと願っている。

②クリスチャンの**希望**の日

(3)神が歴史を支配しておられるとは

①真の支配者である**主に信頼**する者は、**決して辱めを受けることがない**。

(4) 神は現代人に(あなたに)何を語っておられるでしょうか？

①ヨハネの黙示録の執筆目的

※「迫害の中にいる人々」やあらゆる時代の「教会全体」への励ましでもある

②背教(人々が支配する)の教会時代への励ましとは

※御言葉(イエスの声)に信頼して従う、御言葉の上に堅く立つことの大切さ

※教会の病理現象(FATIM ※後ほど参照)からの脱却

(5) 天に宝を積む生き方とは

①神が悪を滅ぼされるとき、それを喜ぶ側にいる生き方

②悪と組して一時的に富や成功を得ても、それらは空しい

③「天からの喜び(天的視点)」 「神との交流」 「心の食物(御言葉)」 「永遠に意味のあることのために生きる人生」

(6) 神の側に立って歩む義人とは

①最終的な勝利と祝福とが約束されている者

②この世に悪が栄えているのを見て、 うらやましく思ったり、誘惑されたりしない者

自立への道

教会の病理現象（**FATIM**）からの脱却

①形式主義(**FORMALISM**)から自由主義(**FREEDOM**)へ

1. キリストにある自由
2. 愛を働かせるための自由

②権威主義(**AUTHORITARIANISM**)から自治(**AUTONOMY**)へ

1. 自給伝道
2. 自主運営

③伝統主義(**TRADITIONALISM**)から変革(**TRANSFORMATION**)へ

1. ユダヤ的聖書解釈
2. 神の国の視点

④内向き志向(**INWARD-LOOKING**)から外向き志向(**OUTWARD-LOOKING**)へ

1. キリスト教を世界観としてとらえる。
2. キリスト教を歴史観としてとらえる。

⑤会員志向(**MEMBERSHIP-ORIENTED**)から流動志向(**MIGRATION-ORIENTED**)へ

1. 歴史の流れと社会の現状を読む。
2. 自らの動機の再確認。

**歴史の支配者である神に、
賛美と栄光と力が永遠にあるように。**

**黙示録を学ばれる兄弟姉妹に
主の特別な祝福がありますように！
アーメン**



第8回講解 おわり

次回の予定

2016/9/24 (土) in元町

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

天における「ハレルヤ」の声(19:1～5) 56

小羊の婚姻(19:6～8) 57

小羊の婚宴(19:9～10) 58

キリストの再臨(19:11～16) 59

ハルマゲドンの戦い(19:17～21) 60

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

では学んだことを
分かち合いましょう！

